

# 国保基金繰入全額繰り戻し

## 税率上げる必要なかった、下げるべきと主張・・日本共産党

沼田市の国民健康保険税は、今年度値上げされましたが、値上げを決めた3月議会で、日本共産党は「新型コロナ感染症の影響で、受診控えが大幅に発生し、医療費全体は下がっているのに支払いは減少するはず、当局は1億4千万円の基金を全額繰り入れしても赤字になるので税率の値上げをといますが、税率値上げはコロナで厳しい影響を受けている被保険者に追い打ちをかけるもの、値上げせず様子を見るべき」と主張し、値上げに反対しました。



市当局は強引に値上げを決め、日本共産党以外の議員は賛成し、値上げされてしまいましたが、12月補正の段階で、当初見込んだ保険税収入予算を1億8,222万6千円上回りました。1億4千万円の基金は使用しなくても間に合うことになり、全額戻されました。

井之川議員は、「やはり様子を見るべきではなかったか？税率を上げる必要はなかったのではないか？税率を下げるべき」と要求しました

# 包括的管理市有施設の修繕費詳細わからず

市有132施設が日本管財(株)等により包括管理されていますが、それらの施設で修繕費が必要になったため、12月補正予算に「修繕料」として883万円が提案されました。しかし、テラスはじめ市有132施設には図書館、小中学校、保育所などが含まれているが、子どもたちが日常使用している施設のどこが痛んでいるためどの程度の修繕が必要なのか？まったく明らかにされていないため、その修繕が適正なのかの判断が付きません。井之川議員は、「施設名と修繕箇所、どのような修繕をするのか一覧表を議会に提出するよう求めました。総務部長は、「関係委員会等に提出する方向で検討する」と答えました。

# 子どもの減少により保育園は再編か？



井之川博幸市議

「子どもの急激な減少による保育行政はどうか、全体が縮小されることによる財政の縮小分は、保育料の無料化などの保育行政の充実に回すことが必要ではないか」ということを井之川議員は要求しながら、質問しました。

市長は、「現在、沼田市行政改革推進委員会のワーキンググループとして、沼田市立保育園の在り方検討委員会を設置し、子どもの減少問題を含め、様々な角度から、今後の公立保育園の在り方について、検討を行っているところであります」と答え、また、「私立保育園に迷惑をかけられない」旨の発言もあり、公立保育園の縮小も視野に入れて検討している姿勢を示しました。



# 沼田市企業版ふるさと応援基金条例を創設

## 企業版ふるさと納税の寄付金の活用する基金

5年前に創設された「企業版ふるさと納税制度」によって、自治体が作成した『内閣府に「地方再生計画」として認可された地方創生に係る事業』に企業が寄付をした場合、その自治体が寄付金として該当する事業に活用できます。企業は、寄付額の最大9割まで控除できます。

沼田市は、寄付された額を企業版ふるさと応援基金に積み立て、当該する事業に必要な場合は取り崩す(処分)ことができます。



2021年12月26日 No.1045

## いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料